

修士論文にむけて

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻
ソフトウェア工学専修

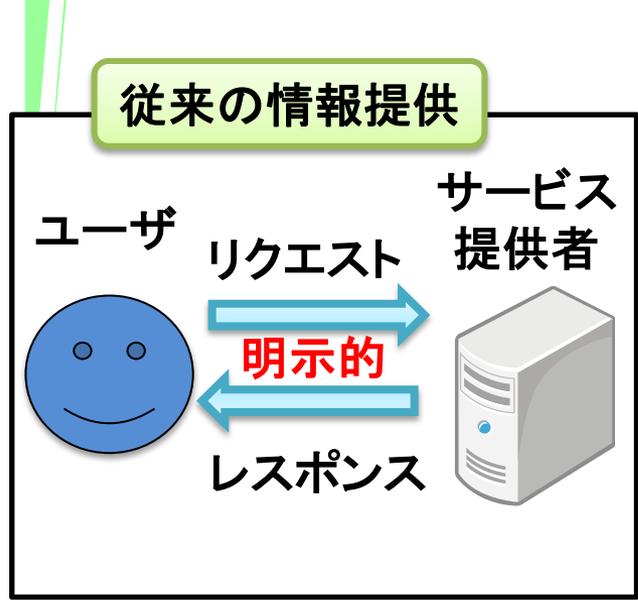
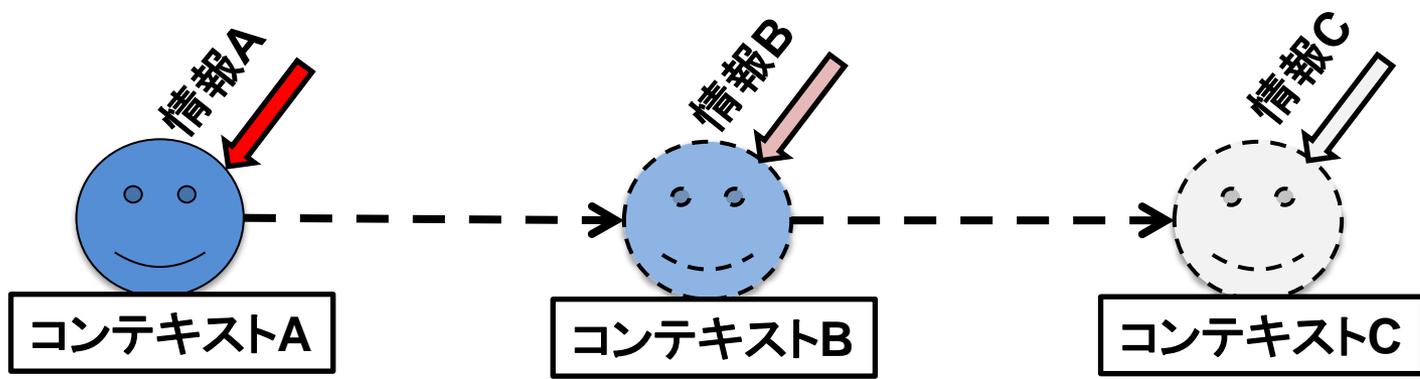
M2012MM040 鈴木 健太

目次

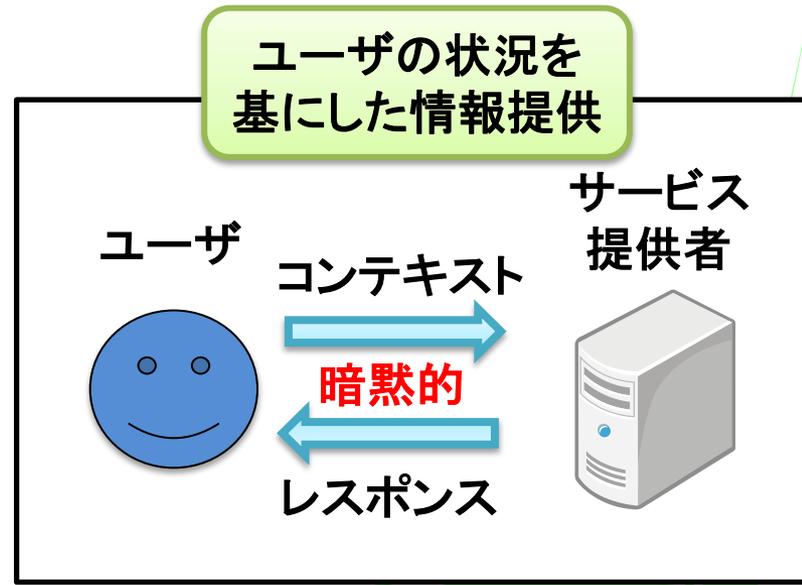
- 研究背景
- 研究課題
- アプローチ
- 提案アーキテクチャ
- 具体例
- 情報提供プロセス
- やるべきこと
- 今後の予定

研究背景と問題点

- コンテキストウェアサービスへの注目
 - ユーザの状況に合わせた情報提供が可能なサービス



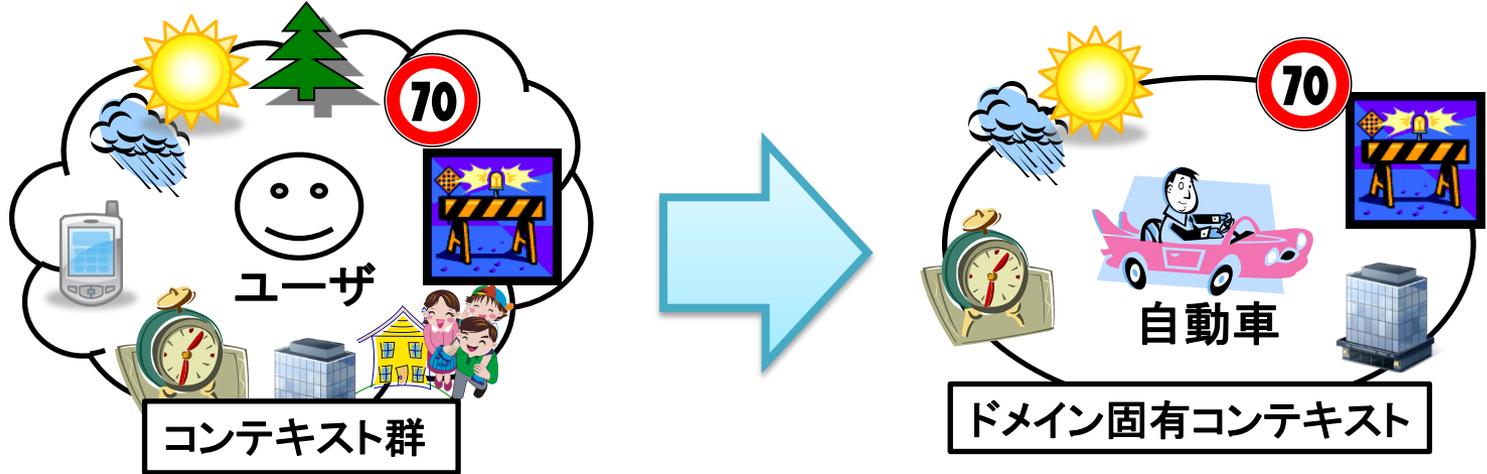
情報提供の
仕組みの
変化が必要



研究課題

1. 情報提供に必要なコンテキストの定義

ドメインにおけるユーザのコンテキストを表現するモデルが必要



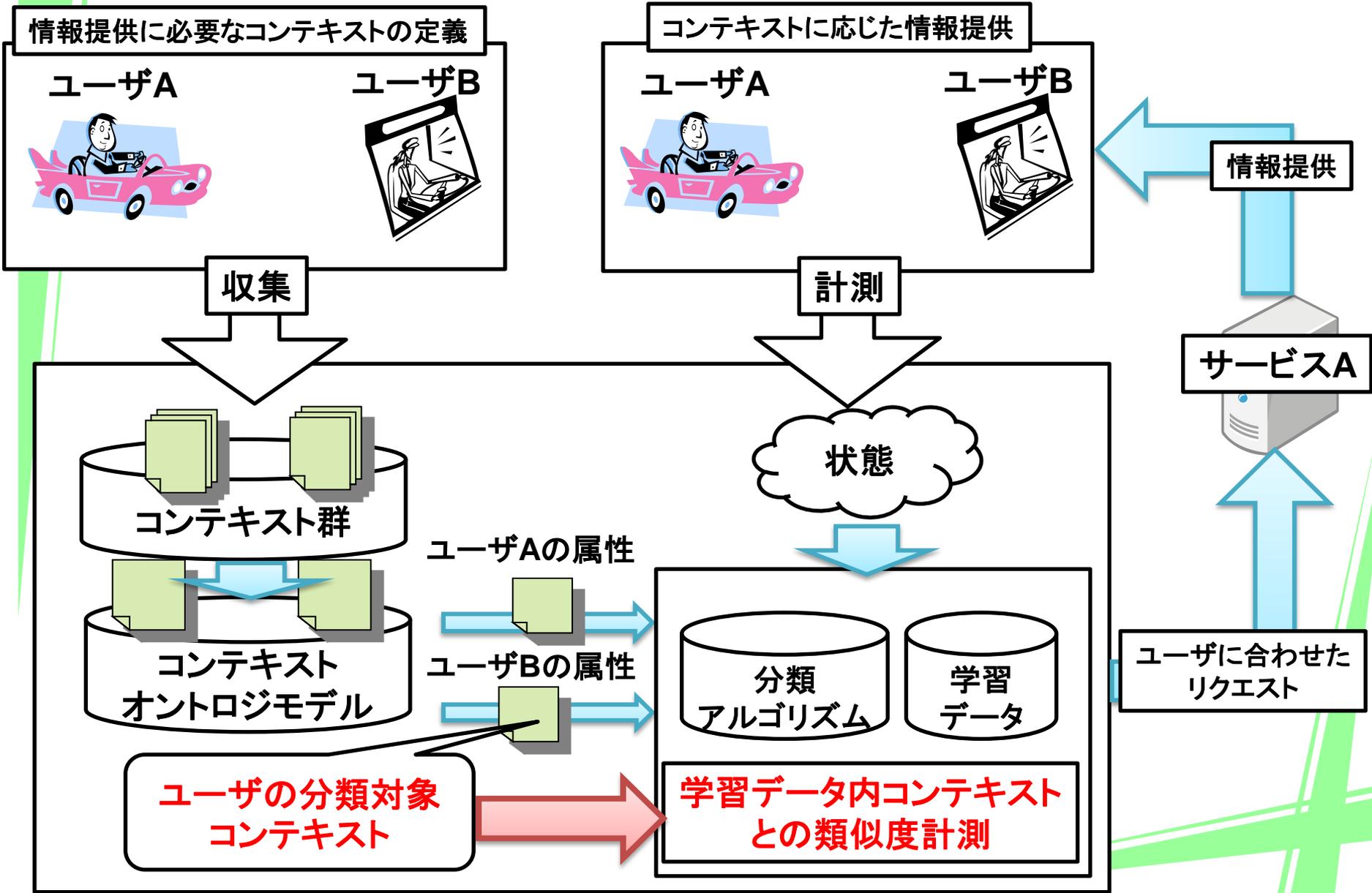
2. コンテキストに応じた情報提供を可能にする仕組みの構築

ユーザの持つ属性や取り巻く状況の変化から最適な情報の判断が必要



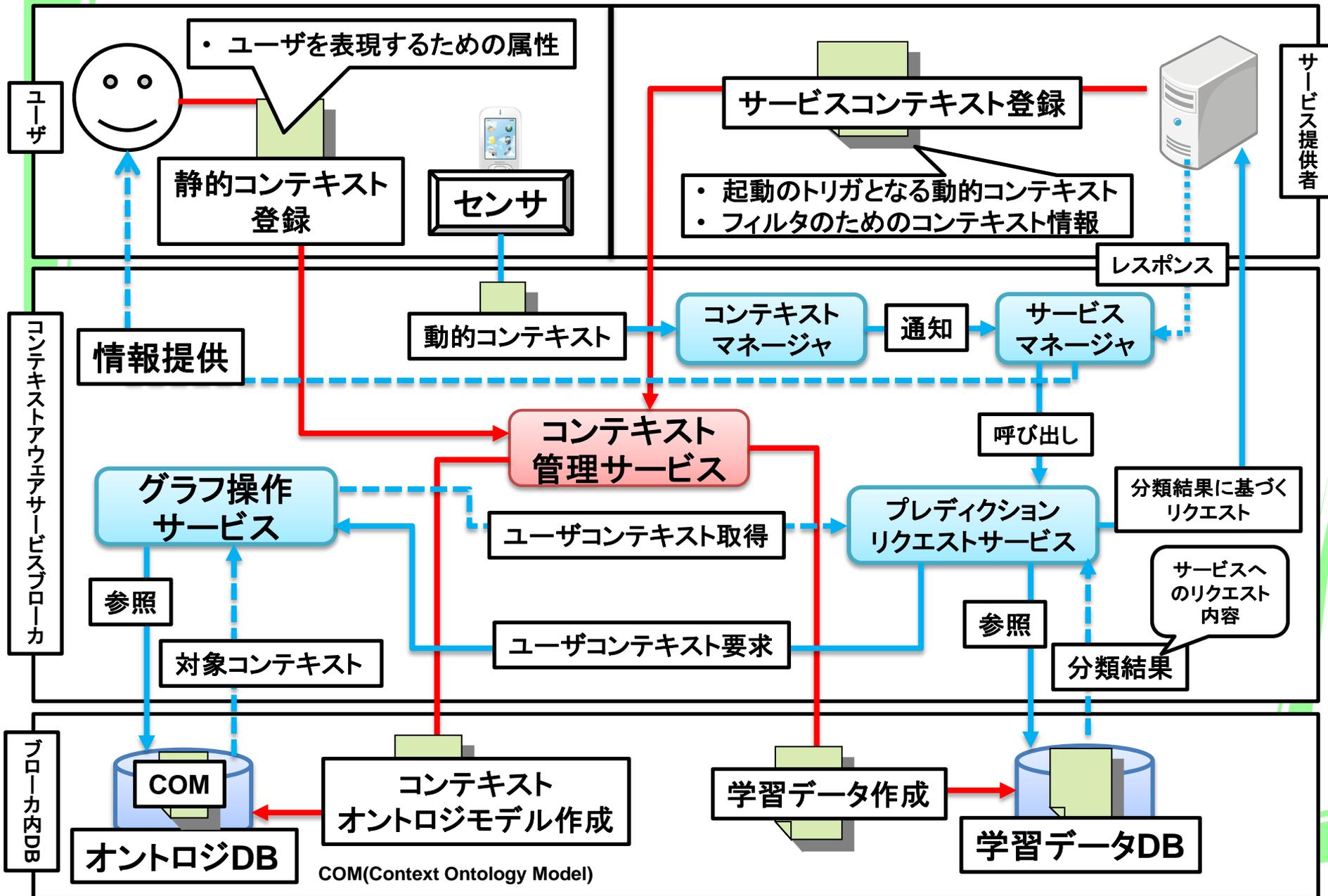
アプローチ

コンテキストの類似度に着眼し、コンテキストの変化に対してユーザが持つ意味の考慮



提案アーキテクチャ

赤:準備プロセス
青:情報提供プロセス

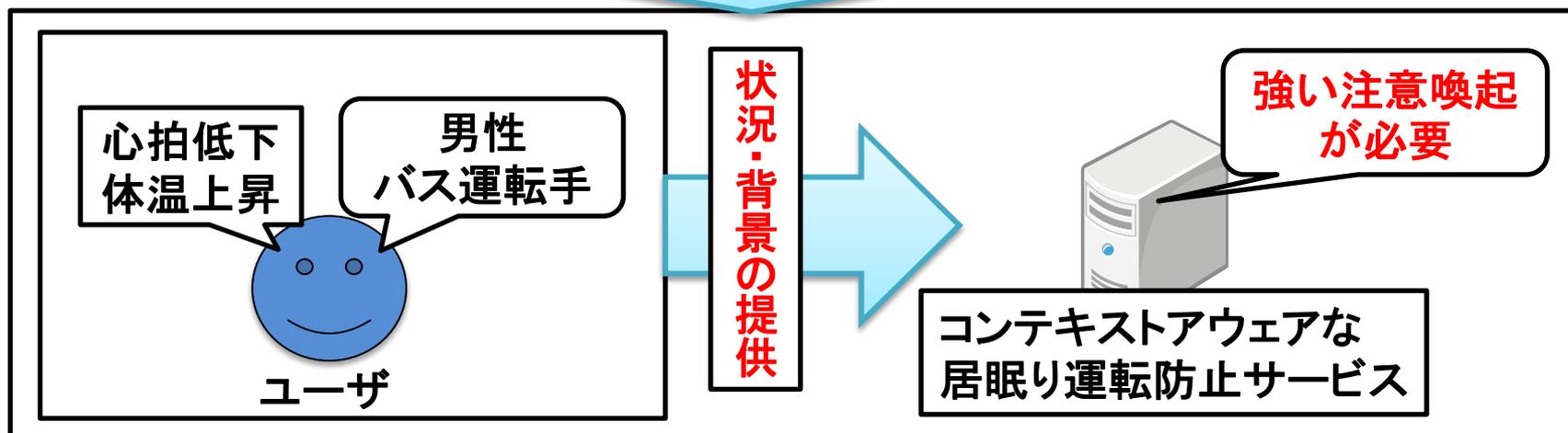


具体例(1/4)

例：コンテキストアウェアな居眠り運転防止サービスの提供

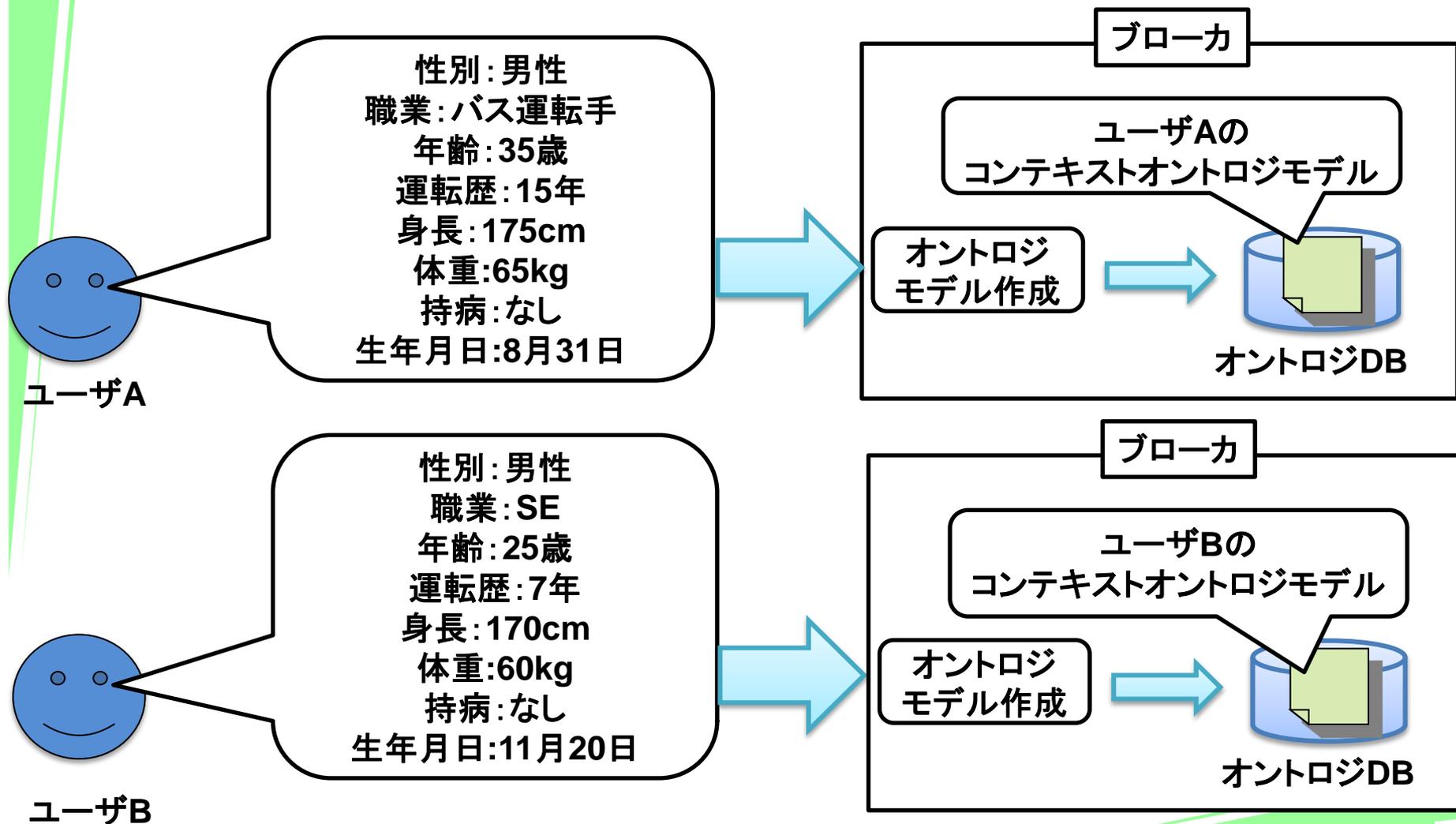


ユーザの状況や背景も考慮したコンテキストアウェアサービス化



具体例(2/4)

ユーザの持つ属性や背景といったコンテキストのモデル化



具体例(3/4)

コンテキストの類似度計測のための学習データの作成

眠気の段階に応じた
情報提供を行うサービス

どのようなコンテキストに対して
どのような分類をするのか

説明変数

目的変数

男性
普通自動車
同乗者なし
運転歴5年以上10年以下 → Level 2

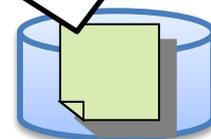
男性
大型車
同乗者あり
運転歴10年以上20年以下 → Level 3
バス運転手
⋮



ブローカ

分類のための
対象サービスの学習データ

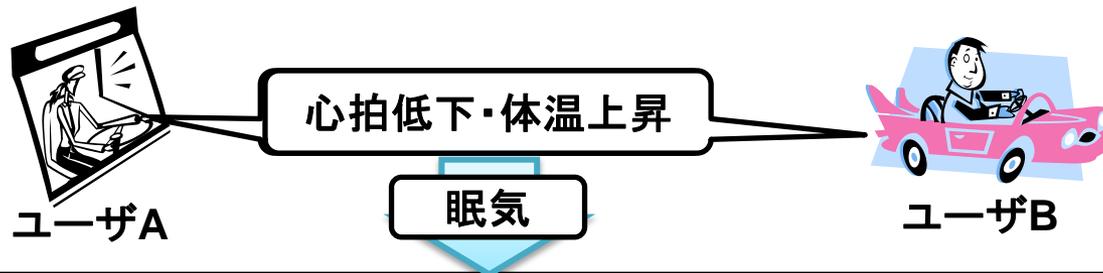
学習データ
作成



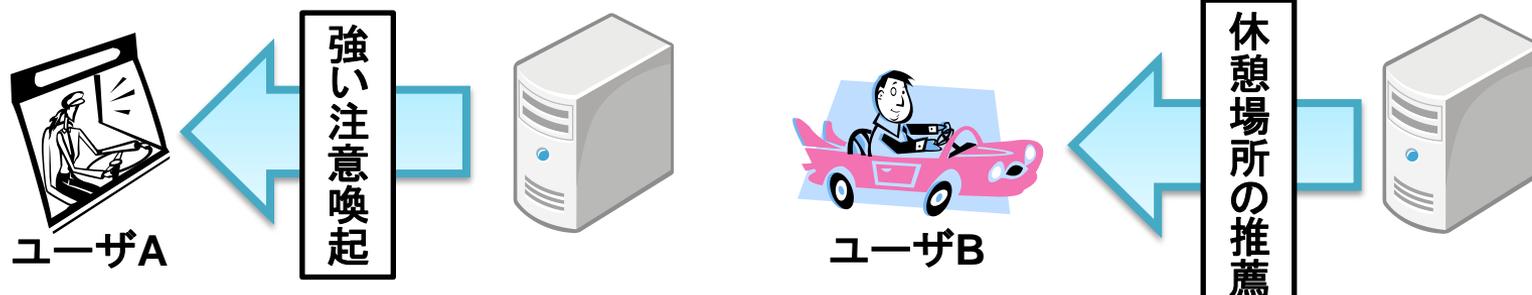
学習データDB

具体例(4/4)

眠気という状態に対するユーザの持つ属性や背景を考慮した情報提供



AにはLevel3のリクエストの結果を提供・BにはLevel2のリクエストの結果を提供



やるべきこと

- **オントロジモデルの再検討
(2週間以内)**
- **合宿にむけたまとめ
(1週間以内)**
- **目次案の作成
(1週間以内)**

今後の予定

日	月	火	水	木	金	土
1 一通りの流れのまとめ	2	3	4	5	6 合宿にむけたまとめ	7
8	9	10	11	12 合宿	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5 中間発表

修士論文にむけて END

南山大学大学院 数理情報研究科 数理情報専攻
ソフトウェア工学専修
M2012MM040 鈴木 健太